

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	2672700297
法人名	医療法人社団 正峰会
事業所名	モンファミーユ舞鶴
所在地	京都府舞鶴市大字和田小字中田1065 (電話) 0773-66-6723

評価機関名	特定非営利活動法人 市民生活総合サポートセンター		
所在地	〒530-0041 大阪市北区天神橋二丁目北1番21号八千代ビル東館9階		
訪問調査日	平成19年11月14日	評価確定日	平成20年1月10日

【情報提供票より】(19年10月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 4 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤 14 人, 非常勤 1 人, 常勤換算 14.1 人	

(2) 建物概要

建物構造	木造造り	
	1 階建ての	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有(円)	(無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(200,000 円) 無	有りの場合 償却の有無	有・無	
食材料費	朝食	350 円	昼食	550 円
	夕食	550 円	おやつ	150 円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(10月 1日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護1	7 名	要介護2	5 名		
要介護3	3 名	要介護4	3 名		
要介護5	名	要支援2	名		
年齢	平均 85 歳	最低 75 歳	最高 97 歳		

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	国立病院機構舞鶴医療センター、中舞鶴西村医院、小川歯科
---------	-----------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

「地域とともに、あなたと生きる」という理念を持つ医療法人を母体を持ち、舞鶴湾の美しい景色が一望でき、山も見渡せ、自然に囲まれた環境の中の広い敷地内に老人保健施設と併設して建てられています。ホーム内はバリアフリーになっており、季節の花や木が植えられている中庭や大きな窓、天窓から光が充分に入り大変明るく、心地良い空間となっています。職員は尊厳を大切に、言葉掛けにも充分配慮しています。また、入居者一人ひとりの思いや希望を把握しながら、お墓参りなど個別外出を支援しています。入居者は日々の生活の中で役割を見出し、創作活動ではみんなで力を合わせてちぎり絵の作品や牛乳パックでソファを作ったり、クリスマスに向けての飾りつけなど楽しみながら活き活きと過ごされています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の外部評価での改善点については、浴室の暖房設置やケアプラン作成の際の本人、家族の意見の反映など出来る事から取り組まれています。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員の意識統一を図るためチームで検討・討議する事が大切と考えられており、今回、自己評価は職員に配布して、管理者がまとめて作成されました。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	家族、民生児童委員協議会会長、婦人会会長、介護相談員、行政担当者が出席する運営推進会議が開催されており、グループホームの現状や前回の外部評価での改善項目についての状況報告がされており、出席者から意見を求めサービスの質の向上に活かしています。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族がホームに来られた際や電話にて入居者の日頃の暮らしぶりや行事の報告をしています。苦情箱の設置や、アンケートを実施し、家族会や運営推進会議への参加を通して意見を聞く機会を設けています。また、外部も含め、苦情対応窓口について、書類に記載やホーム内に掲示しています。要望等についてはその都度話し合い、対応されています。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	隣接の老健施設と一緒に、婦人会、保育園児、近所の方にも呼びかけている夏祭りの開催や中学生がお琴の演奏に來たり、さまざまなイベントが実施されています。また、ホームには地域ボランティアの方に来て頂いています。

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	”地域とともに、あなたと生きる”の法人理念と、グループホーム独自の基本理念・ホーム目標が掲げられており、地域とのつながりを大切にされた地域密着型ホームを目指す内容が盛り込まれている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は毎朝礼時に唱和されており、入居者一人ひとりのニーズを把握し支援出来るように、日々のケアの中で職員に話をしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	立地的に地域とのつきあいが難しい面はあるが、隣接の老健施設と一緒に、婦人会、保育園児、近所の方にも呼びかけている夏祭りの開催や、中学生がお琴の演奏に來たり、さまざまなイベントが実施されている。また、ホームには地域ボランティアの方に来て頂いている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員の意識統一を図るためチームで検討・討議する事が大切と考えられており、今回、自己評価は職員に配布して、管理者がまとめて作成された。前回の外部評価での改善点については、浴室の暖房設置やケアプランの作成の際本人、家族の意見の反映など出来る事から取り組まれている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家族、民生児童委員協議会会長、婦人会会長、介護相談員、行政担当者が出席する運営推進会議が開催されており、グループホームの現状や前回の外部評価での改善項目についての状況報告がされており、出席者から意見を求めサービスの質の向上に活かしています。	○	今後、2ヶ月に1回の会議の開催にて、地域の理解と支援を得る貴重な機会とし、評価後の取り組みや改善経過についてモニター役になって頂くなど、さらにサービスの質の向上に活かしていく事が期待される。

モンファミーユ舞鶴

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	舞鶴市の担当者と関係を密にしている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族がホームに来られた際や電話にて入居者の日頃の暮らしぶりや行事の報告をしている。	○	現在中断されているグループホーム便りの発行や個別の最近の様子、行事予定、行事報告等を、金銭報告とともに伝える事が期待される。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情箱の設置や、アンケートの実施、家族会や運営推進会議への参加を通して意見を聞く機会を設けている。また、外部も含め、苦情対応窓口について、書類の記載やホーム内に掲示している。要望等についてはその都度話し合い、対応されている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	法人の異動は無く、異動は馴染みの職員が対応することが重要と考えられている。やむを得ない職員の交代時は約1ヶ月引き継ぎ期間を設けてスムーズに移行出来るようにしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人にて新人や内部研修があり、チャレンジシートを通して管理者との話し合いを実施し、人材育成に努めている。また、市主催のグループホーム研修や連絡会の外部研修にも参加している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	京都府グループホーム連絡会に参加し、同業者との交流を持つ機会としている。今後は市主催のグループホーム研修を通してさらにネットワークを作る予定である。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前は見学に来て頂き、体験入居も実施している。その方のバックグラウンドを知り、安心感を持ってもらえるように職員との信頼関係を築く事に努め、家族とも相談しながら支援している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日々の生活の中で、職員と一緒に過ごし、寄り添う時間を大切に、楽しい時間を共有している。また、洗濯の干し方、ガーデニング方法(苗の植え方など)や、おはぎ作りなども教えてもらっている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	コミュニケーションを通して一人ひとりの希望や生活のあり方の把握をしている。困難な場合は家族と相談したり、職員間で話し合って検討している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居者、家族の希望を聞き、職員間では全員が参加する毎月のカンファレンスにて話し合い、入居者一人ひとりに合ったケアプランを作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	ケアプランは3ヶ月に1回の見直しが行われている。また、月1回のカンファレンスで入居者全員について職員の気づきや意見を話し合っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院介助や結婚式の付き添い、お墓参りなど個別の外出を柔軟に支援している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居の際に希望を聞いて支援している。協力医療機関の医師による週1回の往診もある。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ターミナルについての同意書をもらい、家族の意向を把握し、主治医、職員で情報を共有しながらケアしている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	人生の先輩として言葉掛けに充分配慮している。法人内の教育接遇委員会にて言葉掛けや対応について話し合い、ホーム内でも報告している。また、個人記録は鍵付の書庫にて保管している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床時間や、就寝時間も一人ひとりのペースを尊重し、出来るだけ意向に合わせたケアがなされている。		

モンファミーユ舞鶴

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	昼食、夕食は老健より運ばれるが、朝食はホームで作られている。盛り付けや配膳、後片付けを入居者は職員と一緒にしている。	○	入居者の個々の力を発揮できる場面として、食事作りは生活の重要な位置にあるため、一緒に食事作りをしたり、職員も同じものを食べる事の検討が今後望まれる。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日の入浴は20時まで可能であり、個々のペースや希望にあわせて支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	牛乳パックでソファを作ったり、季節の作品を作ったり、ボール遊びや、体操などレクリエーションを工夫している。趣味の囲碁や役割として洗濯干しやたたみ、食事の際の配膳、後片付けなどを行っている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	併設の老人保健施設や周辺への散歩やドライブ、買物、喫茶店や畑、庭での日向ぼっこなど戸外に出掛ける支援をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関に音の出るセンサーが設置されている。日中は鍵を掛けずに、自由な暮らしを支援している。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	ホーム独自で通報訓練も行っている。また、年に1回消防署指導の下、夜間を想定した防災訓練など実施している。また、地域的な事もあり、地域の方々の協力を得る働きかけが出来ていないが、隣接の老健と連携している。	○	地域の消防団との連携を法人で考えて行く予定ある。今後運営推進会議での協力の呼び掛けが期待される。

モンファミーユ舞鶴

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	老健の栄養士によるバランスが考えられた食事が提供されており、食事摂取量は毎食、全員記録されている。水分については必要な方のみ記録している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	広い敷地に2ユニットが事務室を挟み行き来できるつくりになっており、バリアフリーで、天井が高く、光が充分に入る中庭や大きな窓、天窓があり、季節の花や作品、行事の際の写真が飾られ、居心地良い空間づくりがなされている。和室もあり、昔使われていた家具が配置されている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	座椅子やソファ、マッサージチェアなど使い慣れた物品の持込が自由であり、居心地良く過ごしてもらえるように支援している。		